

# Library News



大山崎中学校図書館

令和6年3月

## 卒業おめでとうございます

3年生のみなさん、卒業おめでとうございます。

この3年間で心に残るような本に出会えたでしょうか。本はほとんど読まなかったけれど、図書室にはよく行ったという人もいるかもしれませんね。中学生生活のたくさんの思い出の中に本や図書室にまつわることが一つでもあればうれしいです。ぜひ新しい学校の図書室ものぞいてみてください。

## 3月の図書室の予定

3月は返却期限や開館日が通常と異なりますのでご注意ください。

特に3年生は本を借りたまま卒業することのないようお願いします。

**3年生 貸出終了 → 3月5日（火）**

**返却期限 → 3月7日（木） 厳守**

**1、2年生 一斉返却 → 3月14日（木）**

これまでに借りていた全ての本を返却してください。

### 全冊返却した人のみ

**5冊貸出 → 3月14～22日（こちらの返却は4月）**

\*午前中授業の時は終学活終了後、図書館を開館します。

## 新着本

『成瀬は信じた道をいく』 宮島 未奈

成瀬あかり、再び！  
泰然自若の我が道を行く成瀬の待望の続編。今回は成瀬に心酔する小学生、クレーマーの主婦など、新たなご近所の登場人物を交えて大学生になった成瀬が描かれます。あいかわらずの変人ぶりを発揮している成瀬も悩みがあるのか、「探さないでください」の書き置きを残して、失踪。成瀬の身に何が起こったのか？東京から成瀬に会いにきた島崎も巻き込んでの大捜索が始まります…



『水底のスピカ』 乾 ルカ

北海道の高校に一人の転校生がやって来た。文句のつけようもないほど整った顔立ちで注目を集める中、中間テストの成績発表でもトップをとる美令。だが彼女は誰にも言えない秘密を抱えていた。同じクラスで孤立していた和奈はそんな美令と親しくなっていくが……。  
高校生の揺れる思いと友情を鮮やかに描きだす乾ルカの最新作。「友情には信頼とリスペクトがいると思う」——痺れる一行です。



『木精』『高瀬舟』 森 鷗外 〈乙女の本棚〉

森鷗外の短編が美しい絵本になりました。『木精』は山でいつも「ハルロオ」と木精に呼びかけていたフ란ツ少年の成長を描く作品、『高瀬舟』は罪人をのせて京都の高瀬川を行く高瀬舟の上で、弟殺しの罪で流刑になる男と護送する役人との会話から成る安楽死をテーマにした作品です。情感たっぷりの絵によりとても読みやすく心に残る本になっています。現代に通じるテーマの明治の文豪の本、一度読んでみてはいかが？

司書のひとりごと 昨日の本棚から 『リカバリー・カバヒコ』 青山美智子

私はどちらかというと癒し系の本よりワクワク、ドキドキ系の本が好きです。でもこの『リカバリー・カバヒコ』にはすっかり癒されてしまいました。古い団地の公園にある動かない動物型遊具のカバ。自分の治したい部分と同じ場所をさわると治ってしまうという都市伝説から、人呼んでリカバリーカバヒコ。そのカバヒコの元に様々な人がやってきて触れ、話しかけながら自分の心と対峙していくという、5話からなる短編集。カバっていう設定が素晴らしい。パンダでもゾウでもなくカバ。なんとなく愛嬌はあるけど役に立ちそうもない、カバ。けれどみんな見事に治り、回復（リカバリー）していくんです。大人も子どもも悩み多き現代人は誰しもカバヒコを必要としているのでしょうか。私もカバヒコに会いに行きたいなあ。

